

市町村対抗ソフトボール大会 熱戦を展開し9対10で惜敗



時間制限により5回までで試合終了となり惜しい試合を落しました。グラウンドが荒れた中、大健闘でした。

10月6日、第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会の1回戦に飯舘村チームが出場しました。

1回戦の対戦相手は浅川町です。会場の相馬光陽ソフトボール場は小雨模様で、ぬかるんだグラウンドで点を取り合う試合となりました。

飯舘村チームが1点を先制、その後は浅川町が得点を重ね、一時は1対7と引き離されましたが、3回に佐藤将樹選手のランニングホームランなどで同点に追いつきました。しかしその後も点の取り合いが続き、9対10で惜しくも敗れました。

いいたてクリニックなどで 医学生が地域医療体験研修

9月26日、相双保健福祉事務所が主催する「地域医療体験研修」が村内で開催され、福島県立医科大学と帝京大学から合わせて16人の医学生が研修を受けました。

研修は、いちばん館で始められ、いいたてクリニックの本田徹先生が講師を務め、村内の医療の現状や特徴、地域医療の大切さについて、講話を行いました。また、講話と質疑応答の後に、実際にいいたてクリニックを訪れて、施設の見学も行いました。



資料を示し、いちばん館で講話を行う本田先生。先生の医療活動についても、医学生が熱心に耳を傾けました。

飯舘電力チャリティゴルフ 未来基金に寄附



チャリティイベントの開催による子ども達への贈り物を、毎年ありがとうございます。大会時の集合写真です。

10月8日、パーシモンカントリークラブ(伊達市)で、飯舘電力株式会社がチャリティ村民ゴルフ大会を開催し、集まった募金1万7,100円を「いいたてっ子未来基金」に寄附しました。この基金は、飯舘村の教育・保育の充実や、教育環境整備などに活用されています。

平成26年に村民有志が「自立と再生」を掲げて設立した同電力会社は、飯舘地区に本社を、福島市に支社を置き、再生可能エネルギー事業を行っています。

楢葉町のスポーツ施設にて スポーツ推進委員が視察研修

9月28日、飯舘村スポーツ推進委員の視察研修を行いました。

研修には役場の担当職員も同行し、6人の委員が、楢葉町の「ならはスカイアリーナ」と「Jビレッジ」を訪れました。現地では、視察を通して、施設の管理方法や、取り組みの事例を学びました。また、各施設の担当者を交えて意見交換も行い、地域に共通する高齢化問題や人口減少問題にも照らして、運営の実情や課題なども教えていただき、理解を深めました。

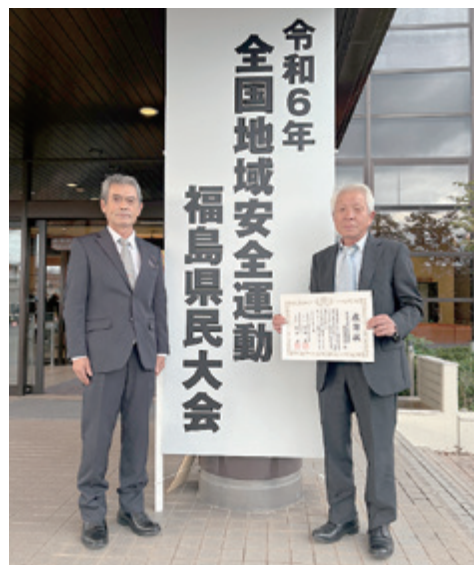


サッカーナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」。施設の機能や運営方法の説明を受け視察しました。

飯舘村防犯指導隊 防犯功労団体として表彰

10月16日、サンライズもとみや(本宮市)で開催された『令和6年全国地域安全運動福島県民大会』にて、飯舘村防犯指導隊が、「防犯功労団体」として福島県警察本部及び福島県防犯協会連合会から表彰され、感謝状が授与されました。

本大会は、日頃より防犯活動に尽力されている個人や団体を表彰し、安全な地域社会を目指すために開催されています。当日は隊長の渡邊富士男さん(飯舘町)と副隊長の原田直志さん(深谷)が出席し、感謝状を受け取りました。



大会会場の前で、渡邊隊長と原田副隊長。

記憶に残る成人式を 成人式実行委員会が始動

『令和7年飯舘村二十歳の成人式』に向けて、交流センター「ふれ愛館」で、8月24日に第1回、9月28日に第2回の実行委員会が開催されました。メンバーは、大谷^{ないと}哀斗さん(小宮)、菅野翔さん(飯舘町)、庄司梨花さん(伊丹沢)、菅野准さん(宮内)の4人で、菅野翔さんが実行委員長を務めます。会では、当日までのスケジュールの確認や、式典での役割分担、会場の装飾などについて協議を行いました。今年度二十歳を迎えるのは、震災時、旧草野・飯舘幼稚園を卒園する年齢だった皆さんです。



第2回実行委員会に参加した委員の皆さん。左から菅野准さん、大谷さん、委員長の菅野翔さん。